

イベント参加学生の感想

栄養クリニック開設の目的のひとつである、「実践力のある管理栄養士養成のために、在学生が様々なイベントに参加して、管理栄養士としての資質の向上を図る」という観点から、栄養クリニックのイベントには本学食物栄養学科の学生の参加を積極的に受け入れている。社会のニーズに応じた実践力を備えるために、一般の方の健康や栄養に対する知識の程度、個人の嗜好性及び人生観などをよく理解し、専門的な用語を使わずに相手にわかりやすく説明する力など、大学で学生が身に付けなければならないことはたくさんある。

栄養クリニックで開催される様々なイベントでは、実際に管理栄養士が一般の方へ情報発信する姿を見ることができ、学生がスタッフと一緒に参加することで、どのような伝え方をすれば伝わりやすいのか、一般の方はどのような情報に興味を示すのかなどについて自分自身で課題を見つけ、対象者側に立った目線での食事指導や栄養指導ができるスキルを身に付けることが目標である。

学生は例年は一般市民対象の健康料理教室にボランティアとして参加することが多いが、昨年度から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のため中止となっている。今年度は大学祭での栄養アセスメント体験・栄養相談、中信ビジネスフェアでの栄養アセスメントが実施されたため、これらに参加した学生アルバイトの感想を紹介する。

大学祭における栄養アセスメント体験・栄養相談

- ・授業で学んでいた栄養アセスメント、栄養相談を実際に体験、見学することができ、理解を深めることができました。
- ・市民の方へ分かりやすく説明するためには、どんな話し方、説明の仕方がふさわしいのかを学びました。また、状況を見て適宜判断して人手が足りない場所に行くなど主体性を身につけられたと思います。
- ・自分が思っていた以上に、自分自身の体について、又は栄養相談をして知りたいと思っている方が多いことに少し驚きました。需要があるということを再確認できたので、もっと勉強をがんばろうと思いました。
- ・一般の方にわかりやすく栄養や測定結果のことをお話する工夫を考えながら行うことができた。病院実習ではコロナ禍で患者様と直接お話できなかったのが貴重な経験になった。
- ・人の頭にスッと入るようなわかりやすい説明をすることの難しさを学びました。興味を持って来てくださる人の中で、若い人が思っていたよりも多くて嬉しかった。

中信ビジネスフェア

- ・様々な方とコミュニケーションをとる経験ができて、一般の方の骨密度や健康に対する認識を肌で感じる事ができた。
- ・普段なかなか触れ合うことのない年代の方々の栄養に対する意識や、考えを聞くことができた。
- ・骨密度測定機の使用法や数値の意味について知ることができた。
- ・貴重な機会をいただきありがとうございます。来場者の方にご説明したときに「とてもためになった」と言っただけ、やりがいを感じられました。骨密度測定や骨粗鬆症について自身の勉強になる点も多かったので、今後に生かしていきたいです。
- ・実際に自分が人に教えるという体験はしたことがなかったのですが、実際にやってみて楽しかったです。
- ・骨密度測定機についても詳しく説明いただけて大変勉強になりました。この経験を今後に生かしていきたいです。

栄養クリニックのイベントは長時間の活動であるにもかかわらず、学生たちは終始笑顔で積極的な態度で好感が持てる対応ができていた。在学中から栄養クリニックの行事に積極的に参加し、各自の能力を培い、社会のニーズに応えられる実践力を身に付ける教育の場として今後も栄養クリニックの活用が期待される。

学生の参加状況

大学祭における栄養アセスメント体験（19名）、中信ビジネスフェア（3名） 合計22名（のべ人数）
（大学祭における栄養アセスメント体験、中信ビジネスフェアの詳細はp.14～16参照）

（松並 晃子）



栄養アセスメント体験の様子